



中部電力

H4-CA-211-R00

審査資料の品質確認について

2021年7月28日

審査資料の間違い対応および品質確認体制の改善の履歴

※誤記等の評価に大きな影響を与えないミスは含めずに記載

2017年9月15日 第509回審査会合（プレート間地震の津波評価）

パラメータ設定根拠記載

2018年2月9日 第547回審査会合（地震以外の要因による津波評価）

海底地すべりの概略緒元

2018年5月11日 第570回審査会合（内陸地殻内地震の地震動評価）

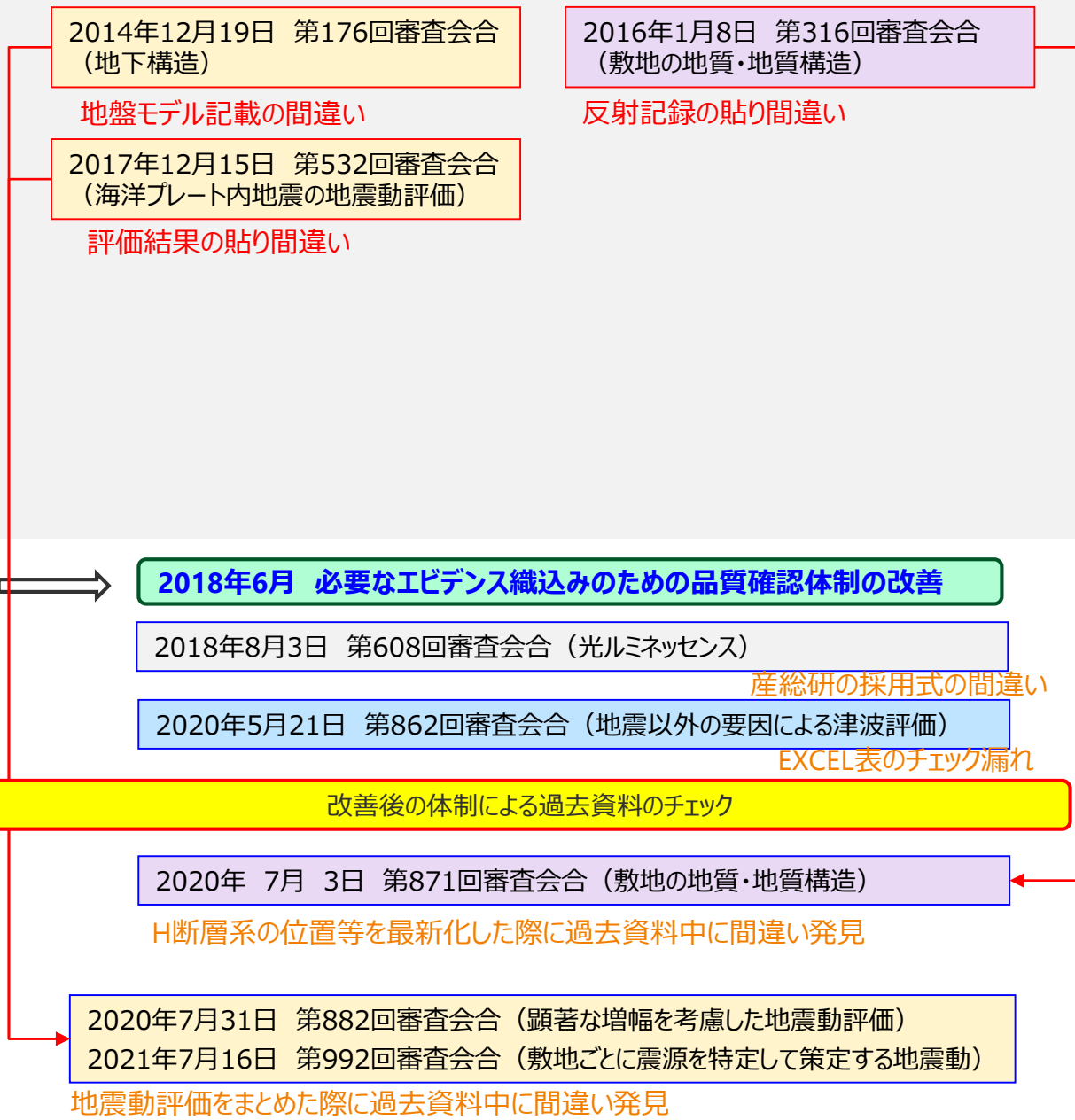
設定根拠、理由、考え方が前回の審査にあっても今回の資料に添付されていない。

審査会合に手戻りがないようにするため、こういったことの原因究明および品質保証管理の改善を含め、再発防止策を講じていただきたい。



2018年6月4日 面談
（原因究明，再発防止策，品質確認体制の改善策を説明）

	エビデンス不足
	記載間違い
	間違いを報告
	基準津波
	基準地震動
	敷地の地質・地質構造
	敷地周辺地質



必要なエビデンス織込みのための品質確認体制の改善（2018年6月）

発生事象

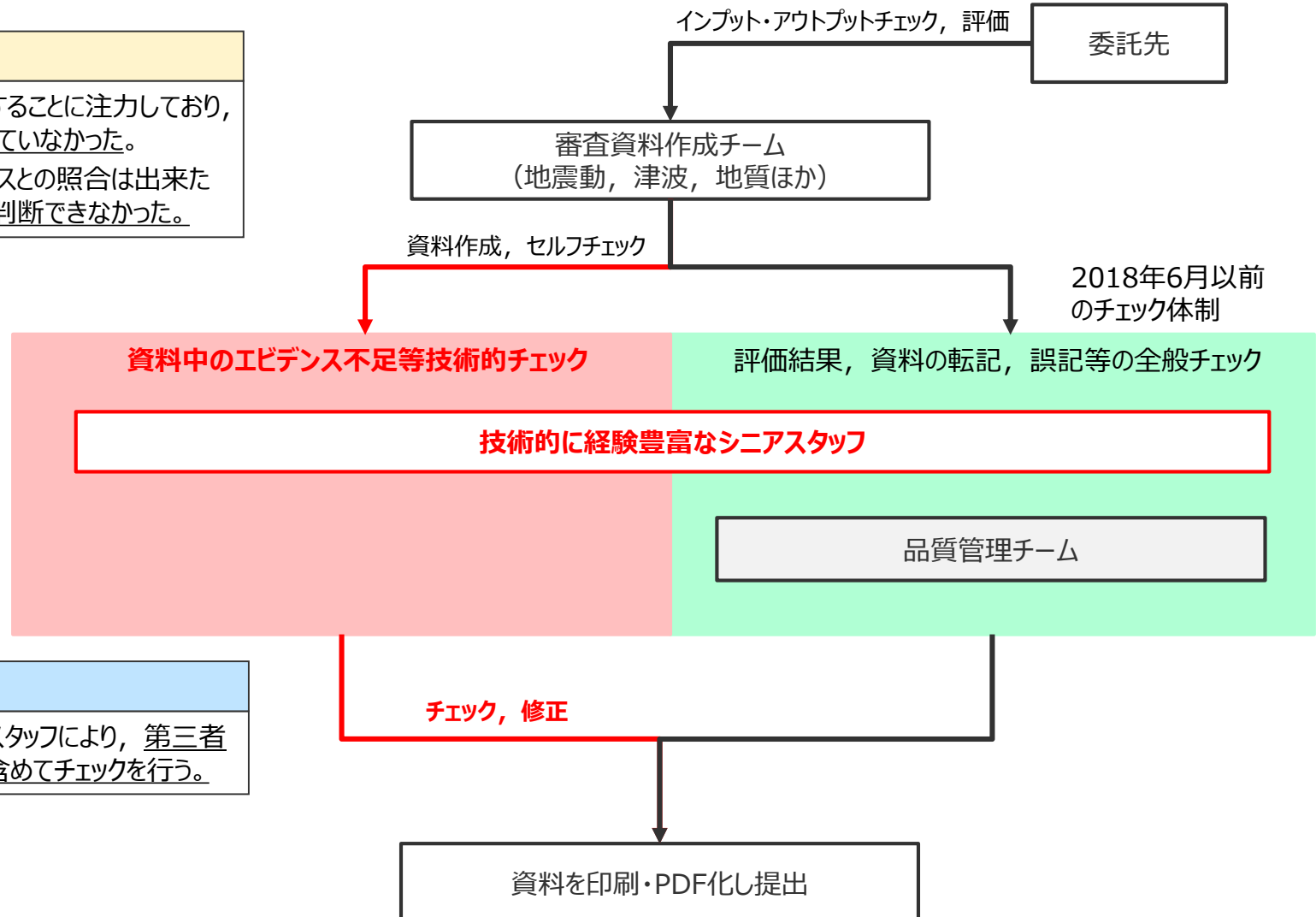
審査に必要なエビデンスの審査資料内の不足

発生要因

審査資料作成チームは資料を作成することに注力しており、エビデンスを織込むところまで気が回っていなかった。
品質管理チームは与えられたエビデンスとの照合は出来たが、技術的なエビデンス添付要否を判断できなかった。

対策

部内の技術的に経験豊富なシニアスタッフにより、第三者目線からエビデンス織込みの要否を含めてチェックを行う。



まとめ資料整備に向けた品質確認方法

発生事象

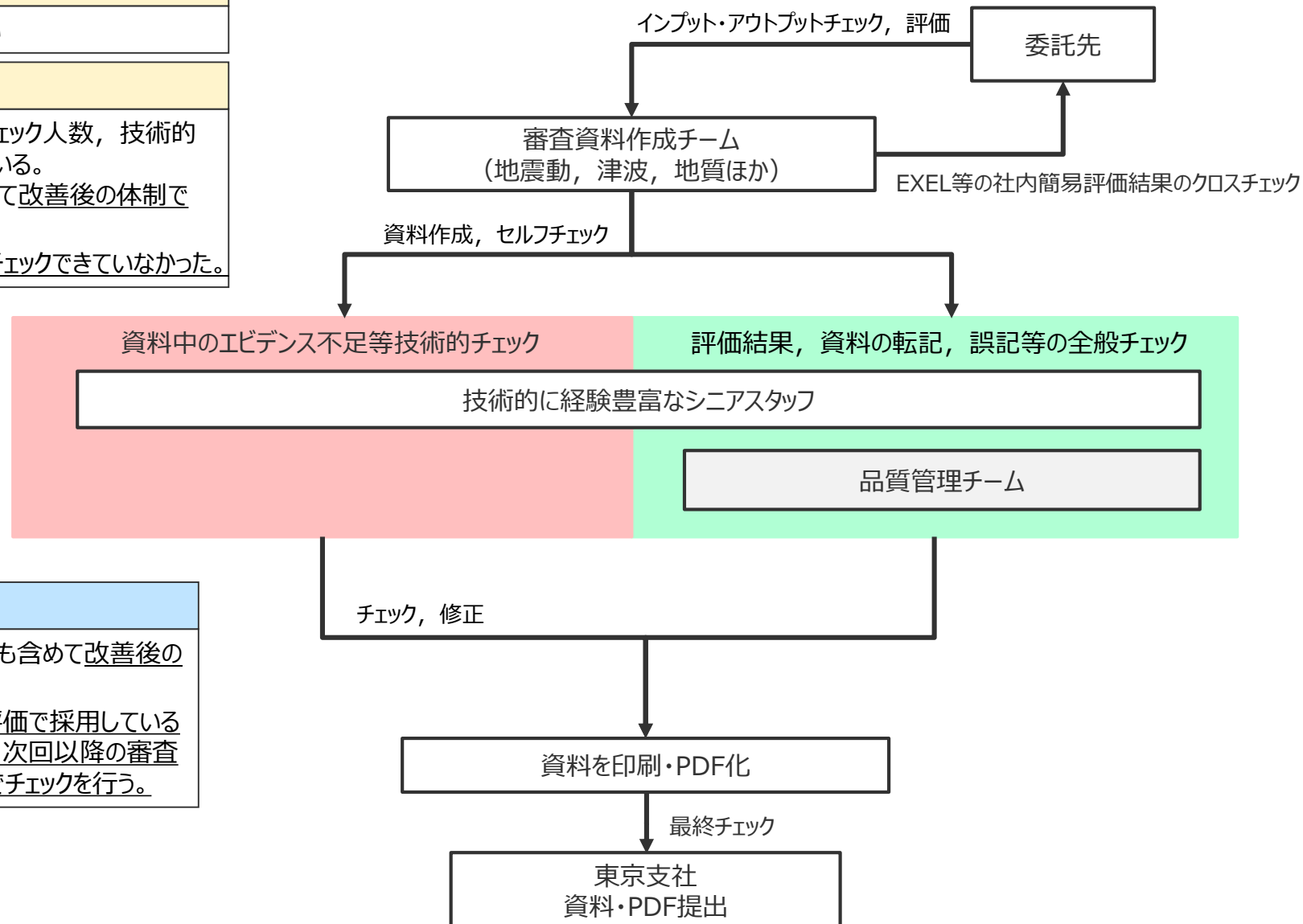
過去資料における貼付け、記載間違い

発生要因

2018年6月の品質体制改善後は、チェック人数、技術的スキルを組合せてチェックできるようにしている。
資料をまとめる段階に入り過去分も含めて改善後の体制でチェックを実施したところ間違いを発見。
過去資料を改善後の体制で迅速に再チェックできていなかった。

対策

敷地内断層、地震動は今回で過去分も含めて改善後の体制でチェック済。
津波は継続審議中であり、今も津波評価で採用している評価は改善後の体制でチェックしている。次回以降の審査資料についてもしっかりと改善後の体制でチェックを行う。



今後の品質確認について

- 2018年6月の品質確認体制の改善以降の資料作成においては、エビデンスの充実、間違いの削減等一定の効果を上げてきている。
- 今般の資料における間違いは、まとめ資料について改善後の体制であらためてチェックを実施したところ発見したものであり、改善後の体制で過去資料を迅速に再チェックできていなかったことが要因である。
- 敷地内断層、地震動は今回で過去分も含めて改善後の体制でチェック済。
- 津波は継続審議中であり、今も津波評価で採用している評価は改善後の体制でチェックしている。次回以降の審査資料についてもしっかりと改善後の体制でチェックを行う。
- 常に適正な資料に基づき、審査を行っていただけるよう今後も品質確認の体制について改善に努めていく。



中部電力